

分子創薬化学分野 〈旧 薬化学研究室〉

Staff

教授 佐野 茂樹 Shigeki SANO

Project

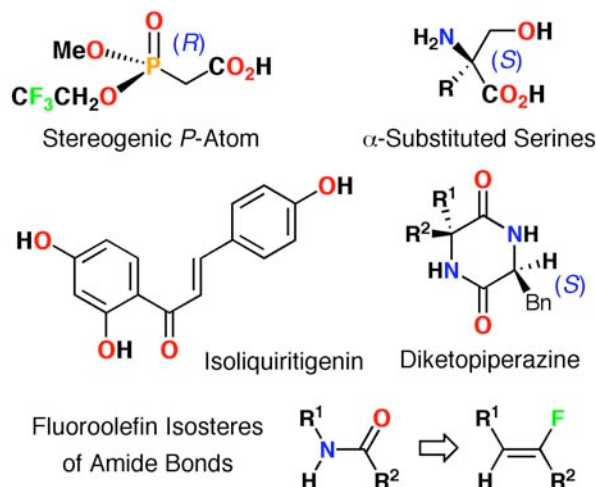
平成19年4月1日より、長尾善光教授の後任として佐野茂樹が分子創薬化学分野（旧 薬化学研究室）を担当させていただきましたこととなりました。

これまで同様、「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ならびに薬学部での教育研究のため一歩邁進いたします。

The new professor has taken office in April 2007. The main concern of this department is “development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs”.

下記ホームページに研究室の情報を掲載しております。詳細についてのご質問等は、研究室（6階東）をお訪ね下さい。

URL ☎ <http://www.ph.tokushima-u.ac.jp/?&rf=116>



研究テーマ

- * α-置換セリン誘導体の不斉合成研究
- * ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく新規機能性分子の創製
- * 高立体選択的Horner-Wadsworth-Emmons反応の開発
- * 高立体選択的タンデム型還元-オレフィン化反応の開発
- * フルオロオレフィンおよびトリフルオロメチルオレフィンジペプチドミメティクスの立体選択的合成
- * P-キラルホスホノ酢酸エステル類の合成と不斉合成反応への応用
- * α,β-不飽和カルボン酸の脱共役エステル化反応によるβ,γ-不飽和エステル合成
- * 微小癌診断のための新規赤外蛍光標識試薬の合成開発
- * 分子内励起二量体形成を基盤とする新規蛍光標識試薬の合成開発
- * システインプロテアーゼ阻害剤の合成開発
- * イソクイリチゲニンならびにZ異性体の合成と生理活性評価
- * 酸化劣化脂質に含有されるDNA障害性化合物の探索
- * 口臭検査のハイスループット化を目的とした揮発性チオール捕捉標識反応剤の合成開発 他



2007-05-31撮影・長井記念ホール横にて

学位論文 2007

平成18年度博士論文

- ・ 大谷 直明「ベンゾアゼピン誘導体の効率的合成法の開発研究」
- ・ 岡村 隆志「アデノシンA3受容体拮抗剤、トリアゾロプリン及び縮合トリアゾロピリジン誘導体の創製研究」
- ・ 陳 青根「Studies on the Synthesis of Novel Dialkynyldiarylsilanes and the Related Chemical Reactions」

平成18年度修士論文

- ・ 井上 尚兵「新規タンパク質標識化合物ICG-ATT及びICG-MALの合成開発研究」
- ・ 黒田 陽子「フルオロオレフィンジペプチドミメティクスの立体選択的合成」

- ・ 橋本 佳奈「ニューキノロン系抗菌剤の合成開発ならびにアンギバクテンの全合成研究」

平成19年10月1日より、6名の3年次学生が研究室メンバーに加わりました。



2007-10-03撮影・研究室にて